

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 21-013

PDCA	事務事業名	妊婦・産婦・乳幼児健康診 査事業	部課等名	健康子ども部 保健センター 母子保健担当	担当	和田	
					内線等	84-0646	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節：第1節 子育て・子育て支援の推進 基本施策：3. 健やかな子と親の育ち 単位施策：(1) 安心で安全な妊娠・出産への支援 個別施策：①妊娠中の健康管理の充実					
	根拠法令等	母子保健法、児童福祉法					
	対象・目的	・妊産婦、乳幼児の疾病や障がいの予防と早期発見・対応、虫歯予防等健康増進を図る。 ・育児不安や保護者のストレスなど家庭環境を把握し、個々に適した保健指導を行い子育て支援を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	妊婦健診（14回）、妊婦子宮頸がん検診（1回）、妊婦歯科健診（1回）、乳児健診（2回）、産婦健診（1回）、を医療機関へ委託、3か月児健診（月3回）、1歳6か月児健診（月2回）、3歳児健診（月2回）、2歳児歯科健診と保健師による個別相談（月1回）、経過観察児健康相談（月1回）は保健センターにて実施する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①乳幼児健診年間実施回数	84	84	83	回	
		②妊婦健康診査受診実人数	1,045	1,065	1,018	人	
		③					
		事業費	106,821	101,060	100,389	千円	
		人件費	19,951	21,951	24,413	千円	
		総事業費	126,772	123,011	124,802	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
		①乳幼児健診1回当たりコスト	345	366	404	千円	
		②妊婦健康診査受診者1人当たりの平均コスト	91,777	91,976	89,651	円	
	③						
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①乳幼児健診受診率（3か月児、1歳6か月児、3歳児）	実績値	99.3	99.4	99.4	%
			目標値	99.5	99.5	99.5	
②		実績値					
		目標値					
③		実績値					
		目標値					
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性	
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—
	事業の評価・課題	B 産婦健診でエジンバラ産後うつ質問票の実施し、産後うつ病や育児の負担感が強い産婦に対し医療機関等と連携して早期に個々に応じた支援ができた。 乳幼児健康診査では、日程調整を柔軟に対応する等受診率向上を図った。また未受診者については、訪問や面接、他機関との連携により子どもの安否を100%把握することができた。 また今年度から、過去の健診結果データから課題となった子どもの生活習慣の見直しのために1歳前の親子を対象とした教室を開始したことにより、保護者へ子どもの成長を促す関わり方等を伝えることができた。					
		現状維持 ・子どもの疾病や発達の確認だけでなく、虐待予防の観点で家庭内での子育てに関する困り感等にも寄り添った聞き取りをし、健診後の切れ目ない支援につなげていく。 ・乳幼児健康診査結果から継続支援を要する家庭が増加していることから母子健康増進事業の中で子どもの生活習慣に関する教室を今年度から開催しているため、今後の健診結果から事業効果の中長期的に健診結果で確認していく。					
		今後の事業の方向性					
令和2年度の目標			成果指標	目標値	単位		
	①乳幼児健診受診率（3か月児、1歳6か月児、3歳児）		99.5	%			